



2022年度の英語教育について（検討中）

2022年度のMJG Englishは、低学年で習熟度別授業を展開する予定で検討しています。（全ての時間を習熟度にするわけではありません）

クラス分けについては、『インターナショナルスクール』『帰国生』など、小学校入学前に英語の4技能【読む・聞く・書く・話す】が可能な経験者で行う予定です。授業を進めていく上でのクラス変更は、担当者から、お子様の習得度に合わせて、ご連絡させていただきます。

4年生以降については、コース制（発展・進学）が始まりますので、低学年のみとしています。

※現1・2年生の該当児童については、3学期に習得度確認をさせていただきます。



<中学2年生とハロウィン交流会>

10月26日（火）小学1・2年生と中学2年生が英語で『ハロウィン交流会』を行い、中学生のお兄さんやお姉さん達が仮装し、優しく迎えてくれたおかげで、緊張がほぐれたようです。今回の交流会では、グループに分かれて『True or Falseゲーム』や『英単語伝言ゲーム』を楽しみました。英語での指示をチームで考えるなど、小学生の授業とは少し違った内容に、子ども達も良い経験になったのではないかと思います。中学生の中には、小学校の卒業生もいて、小学生をお世話する姿もあり、繋がりを感じ、心温まる時間となりました。

次回の交流は、クリスマスかな！？



CHAC（姉妹校）へのビデオレター

今年度もコロナの影響でオーストラリア体験学校を実施することができませんでした。本来であれば、『日本文化を伝える～ソーラン節をCHACのみんなと踊る～』はずでしたが、叶えることができず、その代わりとして、箕面自由学園小学校児童全員でソーラン節を踊りチャックに届けました。すると、すぐにCHACのジェーン先生から「Thank you for sending your wonderful performance!」と、返信がありました！来年こそは、オーストラリア体験学校に行きたいですね！

※ソーランの映像は、まなBOX『体育』に入っていますので、ご覧ください。

<校内レシテーション発表会>

今年度の夏休みも、各学年に応じた英語での歌や物語の暗唱課題を出題していました。夏休み・コロナでの休校明けの授業では、その課題に一人一人が生懸命取り組んだ成果が発揮できていました。高学年では、低学年と比べて内容は難しくなったり、文章量も増えていたりするなど、課題のレベルが上がります。聞きなれない単語や習っていない単語も出てくるため、和訳をして文章の意味を調べる必要もあり、しっかりと向上心を持って取り組まなければなりません。

クラスでの審査を経て、11月19日（金）『第2回レシテーションコンテスト』の出場者18名を決定しました。そして、レシテーションコンテスト当日は、全校児童や保護者の方、併設中学校高等学校から先生もお招きして開催しました。その中、緊張しながらも大きな声で練習の成果を発揮することができていました。1年生は、英語表現に挑戦し、表現する楽しさや難しさを体感することができました。審査員の方からは、「小学生で、300以上の単語が使われている長文を暗唱できることは素晴らしい。加えて、綺麗な発音で発表していて感動しました。英語力に加え、表現力は、これからの社会で必要とされる力です。小学生からこのような場に出場し、発表できることは、今後必ず自分の力となるでしょう。語学は、人生を豊かにしてくれます。これからも英語の勉強を頑張る将来世界の人々との関わりを楽しんでください。」との講評をいただきました。来年度も『レシテーションコンテスト』を、児童たち一人一人が英語学習の目標にしてくれればと願っています。



Spelling Beeのご案内

3月上旬に、学園（小・中・高）で『Spelling Bee』を行います。Spelling Beeとは、英単語のスペルを1文字ずつ声に出して答え、間違えたらアウト！一人ずつ解答者が減る中、最後まで間違いなく答え続けた人が優勝！という大会です。これは、アメリカで900万人以上が熱狂している大会で、つづりを声に出してということで、自然と「音とつづりの関係」に気づく、英語学習の効果的なメソッドです！詳細は、12月中旬ごろにお知らせします！ぜひとも挑戦してみてください（^^）/

